



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2016年8月号



発行人：濱塚有史 編集人：君塚彩 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「YMCAと子どもたち」

布川 直子（盛岡YMCA 保護者）

こんにちは。布川英樹（バストキッズ・ジュニアユース0B）英里香（本町ぶらいむ0G）里樹（現役YMCAっ子）の母です。我が家とYMCAとの関わりは、長男がサッカースクールに入ったのが始まりでした。その後、下の子供達がサンデースクールやキャンプに参加したり学童に入ったりと、10年間途切れることなくお世話になってきました。

うちの子はみんなYMCAが大好きです。親の小言は見事に素通りさせちゃうのに、リーダーさんの言う事なら耳を傾ける。そこが謎であり悩みだったのですが、ジュニアユース練習後のミーティングを後ろで見ていた時、答えを教えてくれたお母さんがいました。

「Yのリーダーさんは、子供のためだけを思って話をしてくれる。見返りとか、自分の評価のためじゃない。上手い子にも下手な子にも、ひとりひとりのために考えてくれる。だから素直に話を聞くし、子供たちの心に響くの。」と。

娘が学校に行き難くなった時にはすっかり殻に閉じこもったようになり、困り果てて本町ぶらいむに入れてもらいました。モジ

モジとうつむいて反応の薄い子に「英里香」「英里香」と名前を呼んでくれ、娘は笑顔を取り戻しました。

末っ子の里樹は上の2人と正反対。大声でよく笑い、おしゃべりで泣き虫、手におえない癩癩もしばしば。今も毎日体当たりでリーダーさんに甘えさせてもらっています。

『君でいいんだよ』という言葉通り。高校生になった上ふたりにも、Yはいつでも温かな居場所を提供してくれます。

リーダーさん達は他にもたくさん熱いメッセージを語ってくれます。それが楽しみであり、悩める母の励みにもなっています。

リーダーさんと子供たちが目を輝かせているのを見ると、幸せな気持ちになります。全てのリーダーさんが（もちろんYを卒業していったリーダーさんも全員！）ずっと幸せで、どこかで情熱を持って語り続けて下さることを願っています。

これからも親子共々よろしく願いいたします。



☀️夏キャンプ第一弾！わんぱくキャンプ☀️

いよいよサマーキャンプ開始！盛岡YMCAの熱い夏がはじまりました。第一弾はわんぱくキャンプ！わんぱくキャンプのメインリーダーを務めたチーズリーダーより、レポートが届いています。



7月17日～18日まで、都南つどいの森で2016年度のわんぱくキャンプが行われました。1日目、晴れると思いきや雨…。しかし、そんなことは関係なしに子どもたちもリーダーもバスの中からわくわくどきどきの大盛り上がりでした。

バスの中ではがんでもリーダーと私が先頭となり子どもたちと仲良く過ごしました。がんでもリーダーの声のでかさは、雨も上がるほど…！とはいかず、お買い物も済ませ、つどいの森へ到着しました。

着いてからは、ケロリンリーダーとマックスリーダーが先頭となり、つどいの森でウォークラリーをしビンゴ大会を行いました。ゴリナ・がんでもグループの見つけた物には、他のグループには発想できなかったものがたくさんあり、驚きの連続でした。

そして、いよいよ自分たちが今日寝るテントを建てに行きました。子どもたち一人ひとりが自分のやることを見つけ、雨の中でも一生懸命協力して建てることができました。

テントも無事完成し、今度は夕食作り！メニューはカレーとサラダでした。子ども達は、それぞれ薪割りをしたり、野菜を切ったり剥いたり、じぶんがやりたいことへそれぞれ挑戦していました。調理をしているマックスリーダーとれんげリーダーは、子どもたちにけがの無いように目を配ってくれました。薪割りでは、少し固くて力が要る作業でしたが、最後まで頑張ってくれました。

夕食作りも終え、お風呂へ入りに行きました。お風呂から戻ってくるとカレーのいい匂いが！みんなで作ったカレーをおいしくいただきました。チャーリーリーダーは食欲旺盛でぺろりと平らげました。子どもたちもおかわりをたくさんして、とてもおいしそうに食べていました。自分たちで食べたお皿もしっかり拭くことができました。

そしていよいよナイトプログラム…！今年は、いろんなサーカス団に扮したリーダーがたくさんいました。ミッションをクリアすると、最後にはプレゼントをもらえました。暗くてちょっぴり怖かったけどとても盛り上がりました。1日目に沢山のことを経験し、遊び疲れた子ども達は夜はぐっすり寝ていました。

2日目の朝、1日目とは違って晴天！みんなが起きる前の朝早くから、むしキングリーダーと虫とりをしている子どもたちもいました。みんなが起きてきたところで、チョップリーダーとショッカーリーダー、メン

ボーリーダーが先頭となり、背中合わせ鬼ごっこをしました。2人組で協力しながらおかけたり逃げたりして、朝から元気いっぱいな子どもたちでした。

朝ごはんも食べて、今度はテントの片付けをしました。アトラスグループのペグが地面にささって抜けなくなり、「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声がキャンプ場に響いていました。ダイラーリーダーの大きな掛け声のもと、ケンタウルスグループも一生懸命片付けていました。コーカサスグループは一番片付けが早く他のグループよりも先に遊んでいて、ヘラクレスグループは、力仕事はみんなリーダーが助けてくれないながら全員で片付けました。

片付けも終わり、昼食作り開始！一人ひとりがみんなで食べるおにぎりを握ってくれました。作ったおにぎりはあとのおたのしみにして、みんなでたくさん遊びました。小川でサンショウウオを捕まえたり、とんぼやバッタを捕まえたり、大きなアスレチックで遊んだり……。お腹が減ってきたところで、みんなで作ったおにぎりを食べました。全員で作ったものを全員で食べるとおいしさが何倍にもなりました。

そして、最後のフリータイムでは、おたまじゃくし隊やきのご隊など自然の生き物や植物に触れて遊んでいました。芝生の方ではだるまさんの1日をしたりとたくさんかけまわっていたようです。元気に笑い合う声がたくさん聞こえてきました。

たくさんのがんごがったこの二日間。帰りのバスまでみんなで協力して荷物を持って運んでくれました。バスではぐっすり寝る子やまだまだ遊び足りない子…。タイヤリーダーは、たくさん日に焼けて本当のタイヤみたいでした。てんとうむしグループが作ってくれたごはんもおいしかったです。

この2日間は、子どもたちにとってもリーダーにとっても1つのかげがえのない思い出になったことでしょう。たくさん挑戦し続けた子どもたちは、一人ひとり大きくなって帰って行ってくれました。普段体験できないことをやり、子どもたちにとっても大きな自信になっているはず。自分自身も子どもたちからたくさんを学びました。遊び足りないくらい、とても楽しいキャンプになりました！ありがとうございました！

盛岡大学2年 小野寺保乃香（チーズリーダー）



↑ ぴったり背中合わせ！キャンプを通して、とっても仲良しになりました。



↑ リーダーと一緒に、薪割りにチャレンジ！



↑ 料理中の一コマ。キャンプ中、自分たちで食べるものは、自分たちでつくります。



↑ テント設営中！はじめての体験も、頼れるリーダーと一緒にならへっちゃんです。

☆センター対抗！カロム大会開催☆

盛岡YMCAの学童では、現在「カロム」という遊びが流行中！ ついに、3センター対抗のカロム大会が行われました。チャイルドケア事業部主任主事の小川スタッフより、当日のレポートが届いています。



6月26日(日)YMCAで行っている本町、前潟、向中野の学童に通う子どもたち、保護者の方たちに参加を募らせていただき、盛岡YMCAとして初の学童3センター合同プログラムを「男性保育士連チームファンタジスタ」さんのご協力の元行いました。今回行ったのはずばりカロム大会です！カロムとは簡単に言うとビリヤードとおはじきが合わさったような木の遊具です。自分の駒を全部角の穴に落とし、最後のジャックと呼ばれる駒を先に落とした方の勝ちという簡単なものです。

今回の参加者は各センターの学童の子、その保護者の方、ボランティアリーダー、スタッフなどなど総勢約30名でした♪年齢も姉妹で未就学児の子から5年生から大人にと幅広い層での参加者がいる中、1年生が大活躍したり、それを見た高学年の子が「すげー！！」と見とれていたりと、年齢に関係なく和気あいあいながらも熱い戦いが繰り広げられま

した☆

これからも、普段参加しているYMCAのセンターの枠を越えて、たくさんの交流の機会を設けていき、多くの出会いを経験していただけたらと思います。

盛岡YMCA チャイルドケア事業部 主任主事 小川 嘉文



今回参加してくれた子どもたち。←



カロム大会の様子 ←

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 7月報告書

①インターン生より自己紹介！

盛岡YMCAは、「住友商事 東日本再生ユースチャレンジプログラム インターンシップ奨励プログラム」に参加し、7月より2名のインターン生を受け入れています。

インターン生より、自己紹介と意気込みが届いています。それぞれ紹介します！



今回、盛岡YMCAでインターンさせていただきます。岩手県立大学4年、チョップこと川口奈恵です！宮古の被災地復興も含め、たくさんの人のために自分のできることを、精一杯！全力で！取り組んでいきたいと思っています。よろしくお祈りします！

岩手県立大学4年 川口奈恵（チョップリーダー）



7月から盛岡YMCAでインターン活動をする事になりました。岩手大学人文社会科学部国際文化課程3年の大藤百華です。私は宮古市の出身なので、これから9か月間宮古で活動できることをとても楽しみにしています！

岩手大学3年 大藤百華（ピーちゃんリーダー）

2名のインターン生は、盛岡YMCA宮古ボランティアセンターを中心に、9か月間にわたる長期間の活動を行います。2人の活躍に期待です！

②7月アドベンチャークラブ開催！

7月アドベンチャーについて、インターン生のピーちゃんリーダーこと大藤百華さんよりレポートが届いています。

わたしたちは、7月2日に宮古市田老にある野外活動センターでアドベンチャーを行いました。宮古市内の小学校に通う4人の子どもたちと一緒に、カレー作りやかき氷づくり、川遊びなどとても楽しい1日をごしました。みんなで協力して作ったカレーはとっても美味しかったです。川遊びではみんなで水鉄砲や水風船を使ってびしょぬれになるまで遊びました。笑顔の絶えないとっても楽しいアドベンチャーでした！



↑ 参加したみんなの一枚。盛岡からは、はじめて宮古のアドベンチャーに参加したリーダーたちもたくさん！



↑ みんなで水のかけあいっこ。ついにはお鍋まで持ち出してきちゃいました！



↑ リーダーたちもびしょびしょになりながら楽しみました。



↑ こちらはカレー作りのようす。真剣な表情です！

③宮古サッカーI期終了！



宮古小学校にて行われていたサッカースクールは、7月19日をもってI期終了を迎え、夏休みに入りました。

最近のスクールには、いつも盛岡から来てくれる「サトちゃんリーダー」

「ジョアリーダー」はもちろん、他の盛岡の大学生リーダーたちや、地元のボランティアリーダーの方々も遊びに来てくれていました。リーダーたちが顔を出すと、子どもたちも大喜び！いつもにましても楽しいスクールとなっていました。

夏休みが過ぎたら、8月からはII期のサッカースクールがはじまります。日に焼けたみんなにまた会えることを、リーダーたちは楽しみにしています！

④もういくつ寝ると……サマーキャンプ！

8月6日から8日にかけて、宮古の子どもたちを対象とした「田沢湖おもしろサマーキャンプ」が行われます。キャンプの実施に向け、7月10日に、リーダー・スタッフによる下見を行いました。

キャンプの会場は、田沢湖と、「思い出の潟分校」。この「思い出の潟分校」は、1974年（昭和49年）に廃校になった旧田沢湖町立生保内小学校の校舎を修復した木造校舎です。木造の体育館や、木の机、校舎の匂い……まるで、昭和にタイムスリップしたかのような気分になれる施設です。

当日は、みんなで楽しく歌ったり、田沢湖で泳いだり、見たことのない生き物を探したり、自分たちでつくったごはんを食べたり…2泊3日、盛りだくさんのキャンプを予定しています。今年はいったいどんな夏を作りだせるでしょうか？リーダーたちは、キャンプ本番を想像して、わくわくしている様子で下見を行っていました。



↑ 潟分校の教室の様子。かつてはこんなふう授業が行われていたのでしょうか。



↑ リーダーたちみんなで、元気に挙手！



↑ 田沢湖にも入ってみました。当日はみんなで泳ぎます！



↑ 愉快で楽しいリーダーたちが、みんなと過ごす夏を楽しみにしています♪

☆リーダー紹介コーナー☆

こんにちは！盛岡YMCAリーダー、盛岡大学児童教育学科2年のじゅでいんです！子どもたちと遊んだりお話をすることが大好きです！これから一緒に活動できることを楽しみにしていますよ～！

今回は、同じく盛岡YMCAリーダーのれんげを紹介！れんげは小学校のスポ少からバスケットをやっていて、バスケットボールを持つとすぐ走って、シュートを決めちゃう元気で、そして子どもたちを前にすると、いつも子どもたちと同じように走って笑ってはしゃいでいます。

れんげが作ってくれる料理はとってもおいしくて、でもいつも作ってくれるのが焼きそばです。れんげの好きな食べ物は焼きそばらしいです。

そしてファッションが個性的で、私はいつもれんげのファッションを見て勉強しています。前は「じゅでいの服田舎っぽい」と言われてい

ましたが、最近は、大人っぽくなったねとれんげに褒められます。

最初の頃、福島県から来た私に、れんげは「イントネーションが違う」とか、「方言がへん」といつもつつこんできました。でも、最近はれんげの方言が私に移ってきています。

あとは、れんげは嵐が大好きで、その中でも二宮くんが好きだそうで…。二宮くんのカラーである黄色の持ち物を持っていたり、洋服も黄色を選んでしまったりするそうです。

いつもまじめで、でもたまに面白いことを言うとすぐツボにはまって笑っているれんげです。

こちらが今回紹介されたれんげリーダー。 →



8月の予定

- ★8月1日(月)～4日(木)
サッカーキャンプ
(於：いこいの村岩手)
- ★8月5日(金)～6日(土)
星空満天キャンプ
(於：焼走り国際交流村)
- ★8月7日(日)～8日(月)
森の大自然満喫キャンプ
(於：外山森林公園)
- ★8月9日(火)～12日(金)
島のわくわくキャンプ
(於：休暇村気仙沼大島)
- ★8月13日(土)～16日(火)
盛岡YMCA休館
(お盆休みとなります。この期間、お電話等
のお問い合わせには対応できません。ご了承
ください)
- ★8月18日(木)
高松スクールⅡ期開講
向中野スクールⅡ期開講
月曜水泳(振替)Ⅱ期開講
- ★8月19日(金)
金曜水泳Ⅱ期開講
篠木スクールⅡ期開講
盛北スクールⅡ期開講
- ★8月20日(土)
本町スクールⅡ期開講
- ★8月20日(土)
森のようちえん
「ザリガニ釣りをしよう♪
チャレンジキッズ☆」
(於：高松・芝水園)
- ★8月22日(月)
土淵スクールⅡ期開講
- ★8月23日(火)
火曜水泳Ⅱ期開講
- ★8月24日(水)
水曜水泳Ⅱ期開講
盛南スクールⅡ期開講
- ★8月28日(日)
アドベンチャークラブ
「沢登りに行こう♪」
(於：区界・閉伊川)



君でいいんだよ ～JUST THE WAY "YOU" ARE 26～

「再び祈りについて」



こどもの頃、夕食の前には必ずクリスチャンである母の長いお祈りがあった。早くご飯を食べたいし、テレビも観たい、僕にとってそれは非常に長い、退屈な時間だった。そこで、当時大好きだった同級生のT子ちゃんが自分のことを好きになってくれますようにと心の中で祈り始めた。3年間ほど続けたのだろうか。しかし、願いは実現することはなかった。やがて、中学生になり目指す高校には入れませんように願ったが失敗。その後大学受験、就職、人生のさまざまな場面で僕の願いはあまり叶うことはなかった。

「80対20の法則」という啓発本が以前から世界的ロングセラーになっている。「利益の80%は顧客の20%がもたらす」「仕事の成果の80%

は費やした時間の20%から生まれる」などなど、もともとは経済学の理論だったのが、今では様々な分野で応用されている。

これに当てはまるかどうかはわからないが、どうやら僕の祈りのほとんどは、自分にとって都合の良いことばかりだったように思える。しかし、本来祈りとはそうした自己中心の思いや余計なものをそぎおとしていく行為ではないだろうか？80%の自己本位の願いを長い時間をかけて、一つ一つ除いて行き最後に残った20%は結晶化されたいわば覚悟のようなものだと思う。そして、こうした覚悟は結構、実現するようにも思えてきた。

神よ、わが心はさだまれり、われ謹いまつらん、たたへまつらん、わが榮もてたたへまつらん
(文語訳聖書 旧約 詩篇108篇：1節)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

インドでゴリナも考えた。⑤

ゴリナリーダーからのインドレポートもついに5回目。今回は、マルタンダムYMCAについてのレポートです。

3月14日。キャンプも残り2日。スレッシュュが、マルタンダムYMCAに私たちを案内してくれた。

マルタンダムYMCAはインドYMCAの農村センター、農村開発機構である。200年以上も養蜂で有名だ。養蜂は地域の人たち60人以上が学びにきている。これは政府の支援もあるプロジェクトであり、その生徒が作った蜜をYMCAで買い取り、蒸留、ボトリングし製品化して販売をしている。



また、マルタンダムYMCAでは、家庭菜園の事業も行っている。ナスやオクラ、チリなどの種、ココナツの苗を地域の人に買ってもらい家庭菜園を広めている。昔は、蜂蜜作りのように政府の支援によるプロジェクトとして行っており、種なども無料で配られていたようだ。だが、現在は有料で種を売っている。また、以前までは養鶏も行っていたようだ。

そして、もう1つ、政府からの支援をうけ行っているプロジェクトがある。それは裁縫トレーニ



ングだ。女性60人が1か月間、無料で学べるそうだ。比較的好きな時間に来てブラウスや肌着の縫い方を学ぶ。既製品のブラウスよりも、

作るのが安かったり、裁縫のスキルがあることで仕事に就きやすいそうだ。

マルタンダムYMCAは、ストリートチルドレンの保護を行うバンガロールYMCAとは全く異なる活動を行っていたことに驚いた。農村部と都市部で、求められるものは違うのだろう。また、私の所属する盛岡YMCAとも全く違う活動だ。同じYMCAでもその地域によって行っている活動は全く違うということを知った。

このマルタンダムYMCAの活動は、地域に根差した活動であり、地域を支えていた。行っている活動自体は盛岡やバンガロールのYMCAと異なるが、人と人とのふれあひがあり、支え合っている点はどこのYMCAでも共通していると感じた。こんなにも人とのつながりを世界中のYMCAで大切にしているということが、とてもすごいことのように思う。方法は違えど、目指している部分はどこか似たようなところがあるのではないかと感じた。YMCAの根っこにある想いがどこのYMCAにも反映され、根づいているのだと感じた。

表紙の写真から



わんぱくキャンプからの一コマ。「こんなのみつけたよ!!」

- 感謝**
(2016年度7月26日現在)
五十音順・敬称略
- 維持会費
浅沼恵、有我啓作、飯島隆輔、家村知佳、池田二郎、戸貞文、伊藤克見、伊藤真一、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤貞どり、井上浩太郎、井上修三、井上優子、鶴丹谷三子、遠藤昌樹、大関靖二、岡田虎治、尾形裕一、小川明佑、小川嘉文、小澤聡、レナード、押切梓、小山憲彦、川坂保宏、神田橋一、菊地弘生、北田アユ子、君塚彩、熊谷圭祐、熊谷映希、熊谷力貴、昆野香代子、佐藤翔、清水治彦、高瀬裕彦、立花京、長岡和義、名古屋恒彦、南原良哉、花田瞳、濱塚有史、濱塚真美、濱塚有史、早坂春希、林辰也、原寛、人見晃弘、松尾聡子、増田隆、光永尚生、守下昌輝、森山口菜乃、森山幹大
 - 寄附金
池田二郎、伊藤克見、遠藤昌樹、熊谷圭祐、熊谷紗希、熊谷力貴、昆野香代子、佐藤翔、高瀬裕彦、南原良哉、早坂春希、花田瞳、原寛、人見晃弘、光永尚生
 - 東日本大震災被災地支援募金・献品
飯島隆輔、大阪YMCA、私立捜真小学校、馬場一郎、日本基督教団城西教会、ワイズメンズクラブ西日本区
 - 熊本地震・YMCA救援・復興募金
家村知佳、石崎真珠、伊藤真一、伊藤真太郎、伊藤貞太郎、小畑孝子、北田アユ子、君塚彩、熊谷圭祐、熊谷力貴、昆野香代子、昆野瑞紗、清水弘一、菅恵、名古屋恒彦、増田隆、松尾聡子、吉田航平、吉田美波
 - 熊本地震被災YMCA支援募金
浅沼恵、浅沼美希、家村知佳、石崎真珠、伊藤真一、伊藤愛美、岩井和己、鶴丹谷三子、遠藤昌輝、大関靖二、小笠原真紀子、尾形裕一郎、小川明佑、小川嘉文、工藤泰、佐々木千賀子、高橋亜也子、滝川佐波子、立花京、日本基督教団内丸教会、濱塚真美、濱塚有史、早坂春希、女鹿乃々華、盛岡YMCAリーダー会、もろおかワイ

